卒後
臨床研修
ご案内

立川相互病院

東京の
地域医療が
ここにある

わたしたちは初期研修・後期研修を通じて
プライマリ・ケア医と専門医の育成をめざします。

初期研修

CONCEPT

1 将来どの分野にも進めるよう、基本となる診療能力を取得する。
2 直接患者さんを受け持ち、主治医機能を学ぶ。
3 実力と熱意を持つ地域医療の担い手になる。
4 後期研修で専門分野の担い手となるための基礎を作る。

01

POINT 1 病棟研修

丁寧な指導体制の中で患者さん中心の医療を学びます。

▶重層的な指導体制で安全性への配慮と丁寧な指導を行います。

患者さんの抱える多様なプロブレムに対して統合的にアプローチする能力を獲得することを目標としています。

▶1年目の最初の6カ月は、研修フロアでの統合的内科研修と位置づけ、内科の基礎的な力をつけます。
▶研修担当看護師を配置し、多職種で指導を行います。
▶基本的手技は、シミュレーターやマンツーマンの指導で習得していきます。
▶指導医と研修医で振り返り会議を行います。

充実した各科ローテート研修です。

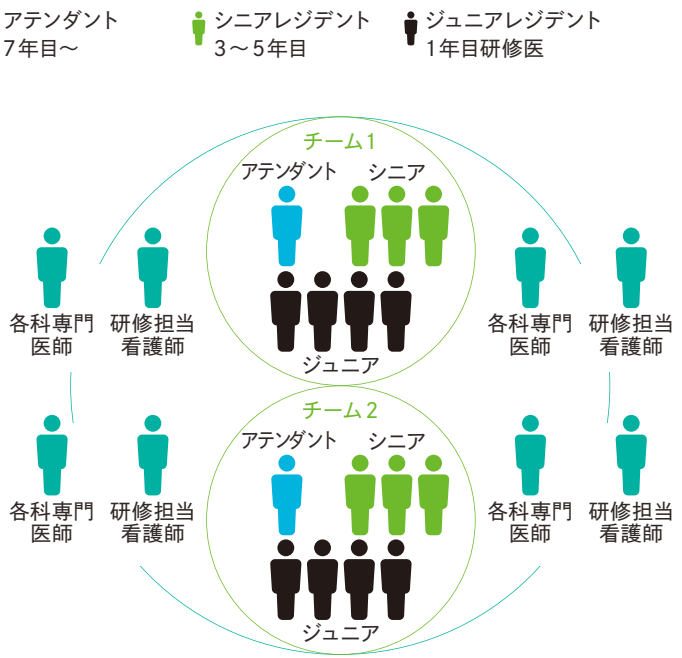
▶内科専門科、外科、小児科、産婦人科、精神科等のローテート研修を行います。
▶医局で気軽にコンサルトができます。
▶基本から専門領域の深い部分まで学ぶことができます。
▶研修医カンファレンスやレクチャーを定期開催しています。
▶立川相互病院医局全体で臨床検討会(毎週1回)、臨床病理検討会(月1回)を行います。
▶研究会や学会への参加を保障し、最新の知識を学ぶことができます。

POINT 2 救急研修

救急車年間4,000台を受け入れ、初期2年間を通して地域住民の要望に応える救急対応能力を身につけます。

▶内科も外科も救急外来の医師が初期対応する北米型ERで専任医と上級医の指導のもと、Walk Inの軽症例から心肺停止といった重症例まで経験できます。
▶1.5カ月の救急科研修以外にも週1回の継続した救急当番を位置づけます。
▶専門科のバックアップ体制をとっており、必要なコンサルトを受けられます。
▶ICLS (JMECC)、ACLS、BLS (AHA) の講習会を院内で開催し、修了証を発行しています。

導入期＝統合的内科研修



導入期研修週間スケジュール（例）

	朝	午前	午後	夕方
月	病棟回診	総回診	病棟	医局会議
火	病棟回診	救急外来	病棟	研修医カンファ GIMカンファ
水	病棟回診	病棟	Dr・Nsカンファ	—
木	病棟回診 クルズス	チームカンファ	病棟	—
金	病棟回診	病棟処置当番	病棟 週間振り返り	CC/CPC
土	—	病棟／休み	—	—

POINT 3 外来研修

病院・ふれあいクリニックを含めた幅広いフィールドを活用し外来研修を行います。

→プライマリ・ヘルスケアの実践と能力の獲得をめざします。

- ▶一定の知識と力量のついた1年目後半から2年目に内科外来研修を開始します。
- ▶医療面接の仕方や鑑別疾患、問題解決プロセスなど約2カ月間はマンツーマンで指導しています。
- ▶外来研修後には毎回指導医からフィードバックを受けることができます。

POINT 4 訪問診療研修

2カ月以上の継続した訪問診療研修を通し、患者さんを環境や生活の場で診ることを重視しながらプライマリ・ヘルスケアの診療能力を身につけます。

- ▶入院した際に病棟で担当医として関わった患者さんに訪問診療でも関わることができ、継続した医療を経験します。
- ▶在宅での看取りや終末期医療への理解を深め関わり方を学びます。
- ▶診療能力のみならず、医療と福祉のネットワークを理解し調整能力の習得をめざします。

POINT 5 診療所研修

地域密着型の医療活動を展開する診療所で地域の医療・福祉ネットワークの仕組みを学びます。

- ▶患者さんにとって身近な医療機関である診療所での研修を最低1カ月以上行い、慢性疾患管理・訪問診療・デイケア・訪問看護同行など地域密着型の診療活動を経験します。
- ▶住民向けの健康講座の講師や健康相談会に参加し、地域でのヘルスプロモーション活動を経験します。

初期研修2年間スケジュール／プログラム（例）

1年目												2年目											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
オリエンテーション 1カ月	導入期研修(内科) 5カ月					外　科 2カ月		救急科 1.5カ月	麻酔科 0.5カ月	選択研修 計8カ月 内科専門科：総合診療科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・腎臓内科・内分泌代謝科・神経内科 等 / 内科以外の選択研修：外科・小児科・産婦人科・精神科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・地域医療・救急科・麻酔科・脳外科 以上から選択								在宅療養支援病院研修（ふれあい相互病院） 2カ月		小児科 1カ月	産婦人科 1カ月	精神科 1カ月	地域医療 1カ月
ER外来研修　※指導医と共に週1単位を担当																		訪問診療研修					
当直研修　※副直4回(同時Call)副直8回(FirstCall)本当直は1年目明けをめざします																		一般外来研修					

※内科専門科研修は自由選択。2年間でまわることのできない科については3年目以降に選択可能。　※ふれあい相互病院研修期間に、回復期リハビリ病棟・地域包括ケア病棟・訪問診療・一般外来研修を行います。

後期研修

CONCEPT

専門医資格の取得はもとより、主治医として入院から退院（初診・入院～退院・通院・在宅）まで診断・治療に主体的かつ継続的に関わり、病気を治すだけでなく、患者さんの社会的背景・療養環境も包括する全人的医療を実践します。

POINT 1 新専門医制度に対応した研修プログラム

（●基幹プログラム　○連携プログラム）

●内科専門医……定員３名

▶症例は「研修手帳（疾患群項目表）」に定める70疾患群を３年間で連携病院での研修含め、すべて経験できるようにしています。

▶救急外来、一般外来診療、訪問診療については継続して行います。

専攻年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専攻医1年目	総合診療科						内科ローテート（救急科）			内科ローテート（腎臓内科）		
	（ER外来／総合外来／訪問診療／入院患者フォロー外来）											
専攻医2年目	内科ローテート（内分泌代謝科）			内科ローテート（消化器内科）			内科ローテート（呼吸器内科）			内科ローテート（循環器内科）		
	（ER外来／総合外来／訪問診療／入院患者フォロー外来）											
専攻医3年目	連携施設・特別連携施設での研修／診療所											
	（ER外来／総合外来／訪問診療／入院患者フォロー外来）											

●総合診療専門医……定員２名

▶内科12カ月、総診Ⅰ（へき地）12カ月、総診Ⅱ６カ月、救急３カ月、小児３カ月の３年間の中で、下記の目標を習得します。

①患者、家族と協働して良好な医療とケアを継続的に提供できる。
②地域における健康問題について捉え、分析し、柔軟に対応する能力を養うことができる。
③院内外の多職種との協働・連携を円滑に進めるマネジメント力を身につける。
④自己研鑽を怠らず、自らがかかわる人から信頼される職業規範を身につける。
⑤地域臨床研究センターと共同して臨床研究に取り組む。

●病理専門医……定員１名

▶立川相互病院病理科を基幹施設とする専門研修プログラムでは、経験豊かな指導医のもと、安定して確実な診断を行える技能を習得することに重きを置いています。また、各診療科に特化した病院や地域中核病院と連携をとることにより専攻医に必須なCommon diseasesからRare diseasesまで豊富な症例をもとに臨床医との日々のカンファレンスの中から知識、技術、そして人として優れた病理専門医を育てます。

○外科……東京大学付属病院、東京医科歯科大学付属病院、国立国際医療研究センター病院
○産婦人科……杏林大学病院、多摩総合医療センター
○小児科……東京都立小児総合医療センター
○整形外科……埼玉医科大学病院
○皮膚科……東京女子医科大学東医療センター
○泌尿器科……日本医科大学病院

後期研修受入実績

2006年	6名
2007年	2名
2008年	4名
2009年	6名
2010年	3名
2011年	4名
2012年	4名
2013年	4名
2014年	7名
2015年	4名
2016年	4名
2017年	4名
2018年	1名
2019年	3名

POINT 2 サブスペシャルの資格取得も充実

学会専門医認定

- 日本プライマリケア学会認定研修施設
- 日本神経学会専門医制度准教育施設
- 日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修病院
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 日本胸部外科学会認定医制度関連施設
- 日本腎臓学会研修施設
- 日本透析医学会認定医制度認定施設
- 日本呼吸器外科専門医認定機構関連施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本がん治療認定研修施設
- 日本糖尿病学会認定教育施設
- 日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
- 日本脳卒中学会認定研修教育病院
- 日本臨床細胞学会施設

POINT 3 診療上必要なスキルアップを支援

後期研修修了後は専門分野を深めるための外部研修制度があります

外部研修実績

虎ノ門病院、国立がん研究センター中央病院、国立がん研究センター東病院、都立多摩総合医療センター、都立小児総合医療センター、都立墨東病院、日本医大多摩永山病院、大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター、国立精神神経医療研究センター、沖縄県立中部病院、日立総合病院、埼玉医科大学病院、国立成育医療研究センター、日本赤十字社医療センター、済生会中央病院、杏林大学医学部付属病院、がん研究会有明病院、国立国際医療研究センター、東京医大付属病院、国立病院機構東京病院、筑波大学付属病院、都立広尾病院、福井県立病院救命救急センター、福井大学付属病院、東京女子医科大学付属病院、神奈川県立こども医療センター、済生会横浜市東部病院

産婦人科医

池田 麗

富山大学2012年卒

立川相互病院で２年間初期研修をしたのち、立川相互病院の産婦人科の後期研修に進み、現在は産婦人科専門医を取得し３年目になります。立川相互病院の後期研修を選んだのは、研修をずっとしてきて慣れているということもありましたが、病院の規模や信頼できる先生方の存在、経験できる内容などを総合して決めました。

当院の産婦人科では、年に600件ほどの分娩と420件ほどの手術件数があります。妊娠悪阻や切迫流産、切迫早産の管理、吸引分娩、帝王切開なども当然多く経験できます。流産や中絶なども行っています。婦人科では、無月経や月経困難症、性感染症や更年期障害といった外来疾患から、良悪性の卵巣疾患、子宮頸癌・体癌などの悪性疾患、異所性妊娠、卵巣出血、子宮筋腫など多彩な婦人科疾患に対応しています。腹腔鏡の手術や骨盤臓器脱の手術も扱っています。不妊症では、不妊初診時からのプランを立て、不妊症検査や排卵誘発、人工授精まで行っています。

中規模である当院では同期の後期研修医が多くいるわけではないため、優先的に症例を経験させてもらえるメリットがあります。後期研修で必要な症例は1年間でほとんど経験することができるかと思います。当院で経験できないような症例は、１年間の連携をしている大学病院や周産期センターで経験を積むことになります。興味がありましたら、ぜひ一度見学にお越しください!(^ ^)!

内科プログラム専攻医

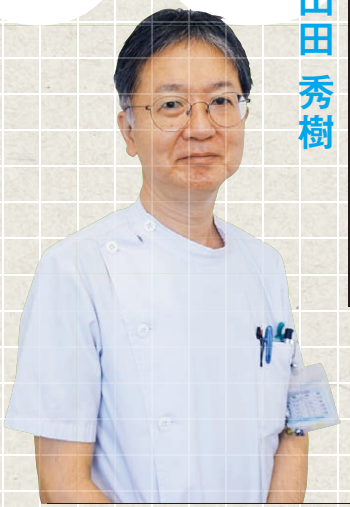
澁谷 淳

獨協医科大学2016年卒

後期研修先でお悩みでしたら、立川相互病院がおすすめです。私は内科を専攻していますが、総合診療科や病理診断科なども認定施設として認められています。新専門医制度開始に伴い私たちは専攻医と新しく呼ばれるようになりました。初期研修では救急外来や病棟がメインとなっていましたが、専攻医では一般・専門外来や訪問診療、また外来・在宅当直など責任感を必要とする仕事が格段に多くなりました。日々不安との闘いですが、何かあれば上級医に相談できる環境が整っており、働きやすさを実感できています。また新専門医制度により最低1年間は連携施設に研修に行くことが義務化されました。当院で学べないことも学べる機会が確保できていくと思われます。地域医療に根ざした立川相互病院での研修はとても充実したものですので、一度見学に来ていただければと思います。いっしょに働けることを楽しみにしています。

先輩医師から

03



山田 秀樹

副院長／臨床研修センター長

生涯、医師として深化し続けていただきたい。

初期研修では、単に知識や技術を修得するだけでなく、医師としてのプロフェッショナリズムを意識し、２年間で主治医としての臨床能力を身につけることをめざします。さらに、住民目線で身近な病院なればこそ、往診や外来を研修フィールドと位置づけていますし、地域の中で行うヘルスプロモーション活動にも参加していただきます。

後期研修では、専門性だけでなくしっかりと総合性を身につけた専門医になるためのトレーニングを重視します。資格の取得はもちろんのこと、何科に進んでも当院の北米型ERに対応できる診療能力を身につけることと標準的な専門診療を行えることをめざします。

６年目以降、専門性を深めるための院外研修制度も活用していただき、生涯、医師として深化し続けていただきたいと思います。

奥野 衆史（信州大学２０１８年卒）

初期研修医

見学で研修医がいきいき働いているのを見て決めました。いまもその印象は変わりません。

数多くの研修病院から自分に合う研修先を探すのに迷われている方も多いと思います。指導体制や、病院の規模や機能、地域のニーズ、コメディカルとの連携や地域連携、医師の働き方など。自分にとって大切なポイントが何かを考えながら私も病院見学に行きました。私が見学に来たときは、研修医に活気があって、和気あいあいとした雰囲気でディスカッションしたり、ERで自分から率先して動いている姿が印象的でした。実際に研修生活を始めてみて、その印象は変わりません。まだ一人前にはほど遠いですが、熱心な指導医の先生方や、患者さんに温かく丁寧に接するコメディカルの方々に支えられ、恵まれた環境で研修できていると感じます。研修先選びに迷われている方はぜひ一度見学にいらしてみてください。

杉田 悠（山口大学２０１５年卒）

後期研修医

初期研修の２年間で、理想の医師像がかたまりました。

私は将来どの科を専攻するにせよ、初期研修の２年間では専門疾患に偏らない医師としての総合的な能力を身につけたいと考え、当院で初期研修を行いました。研修中に非常に熱心なご指導をいただき、自分の理想の医師像となるような尊敬できる先生方に出会い、引き続き当院の腎臓内科で後期研修を行っています。

当院の特色は、大病院などでは経験が難しい地域に根差した医療を経験できることです。研修医は患者さんの主治医として主体的に関わりを持ち、患者さんの疾患はもちろん、その社会的背景や退院後の生活も視野に入れて療養方針を決定します。患者さんを多く担当するよりも、一人一人の患者さんにじっくり時間をかけて診療を行い、外来診療や訪問診療の研修で退院後のフォローも経験します。また、医局は各科の垣根が低いアットホームな雰囲気で、指導医体制がしっかり整っており、他職種のスタッフとの連携も取りやすいため、安心して診療に集中できます。各種カンファレンスや学会発表も充実しており、初期研修を行う上で非常に良い環境です。

研修病院選びに迷われている方は、ぜひ一度実習に来ていただき、当院の医療を肌で感じていただきたいと思います。

民医連

民医連の紹介

戦後、医療に恵まれない人々の要求にこたえようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）は、これらの連合会として1953年に結成されました。

以後、半世紀以上にわたって地域の人々にささえられ、身近な医療機関として活動しています。医療制度を改善する運動もすすめ、「いのちは平等である」との考えから、差額ベッド料はいただいていません。また、地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1700カ所を超え、約6万2千人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約318万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。

オリジナルカリキュラム

友の会活動・地域での取り組み

民医連の理念に基づいた研修を取り入れています

01 保健予防活動

地域住民(友の会)と共に地域でヘルスプロモーション活動に取り組んでいます。

- 友の会班会での健康講座
- 地域での健診活動
- 立川健康まつり(立川市後援)

02 平和の取り組み

医療従事者として、平和で健康に生きる権利について学び考える機会を設けています。

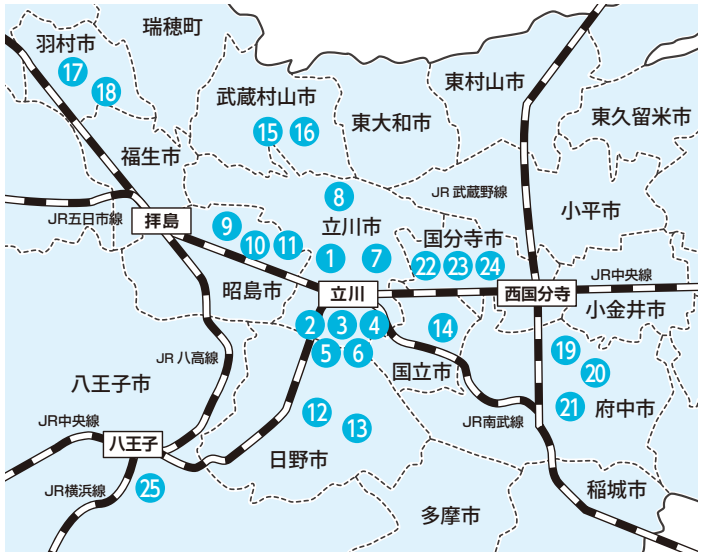
- 被ばく者健診ボランティア
- 原水爆禁止世界大会
- 平和フィールドワーク

03 地域診断（調査活動）

立川市の地域を知るために、毎年研修医でテーマを決めて調査・フィールドワークを行っています。

- アルコール依存症患者の実態について
- 立川市の喫煙状況について
- 子どもの食生活事情

健生会ネットワークMAP



1. 立川相互病院
2. 健生会ふれあい相互病院
3. 立川相互ふれあいクリニック
4. 立川相互病院付属子ども診療所
5. 相互歯科
6. にしき訪問看護ステーション
7. さかえ訪問看護ステーション
8. すながわ相互診療所
9. あきしま相互病院
10. 昭島相互診療所
11. 東中神訪問看護ステーション
12. 日野台診療所
13. ひのだい訪問看護ステーション
14. 谷保駅前相互診療所
15. 大南ファミリークリニック
16. 緑が丘訪問看護ステーション
17. 羽村相互診療所
18. にしたま訪問看護ステーション
19. 府中診療所
20. しんまち訪問看護ステーション
21. 府中市地域包括支援センターしんまち
22. 国分寺ひかり診療所
23. 日吉町訪問看護ステーション
24. 国分寺地域包括支援センターひかり
25. けんせい歯科

立川相互病院は、急性期医療を実践する一方で、関連医療機関や福祉施設とも連携し地域の健康づくりから救急医療、慢性疾患管理、在宅医療まで総合的な医療を展開しています。
このようなフィールドの中で、初期研修・後期研修を通じてプライマリ・ケア医と専門医を育成しています。
医学生のみなさん、ぜひ一度実習にお越しください。

処　遇

▶給　与……1年次／324,000円（基本給＋研修医手当）
2年次／370,000円（基本給＋研修医手当）
▶手　当……住宅手当30,000円、賞与年2回、当直手当、家族手当等あり
▶雇用形態……常勤職員(採用予定人数８名)
▶その他……社会保険、年金、労災、有給休暇、院内保育園、病児保育室(ぱおぱお)、食堂あり

実習案内

▶実習期間……日・祝日、正月期間を除き、基本的に希望される日程で行います。 ※土曜日の実習についてはご相談ください。

▶注意事項……
- 申し込みは原則1週間前までにお願いします。
- 実習内容は希望に合わせてプログラムします。
- 実習の申し込みはホームページよりお願いします。

出身大学（2014～2019年）

北海道大学／弘前大学／秋田大学／山形大学／群馬大学／獨協医科大学／筑波大学／埼玉医科大学／東京大学／順天堂大学／日本大学／東京医科大学／昭和大学／杏林大学／北里大学／東海大学／山梨大学／信州大学／福井大学／和歌山県立医科大学／滋賀医科大学／山口大学／愛媛大学／産業医科大学／大分大学／熊本大学／宮崎大学

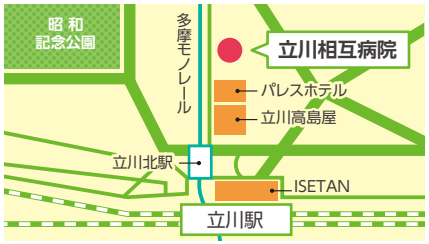
概　要

▶病床数……287床
▶外　来……868名／日（2018年度）
▶救急患者数……13,905名（2018年度）
▶救急車搬送台数……4,394件（2018年度）
▶手　術……2,576件／年（うち全麻1,431件・2018年度）
▶分　娩……647件（2018年度）
▶剖検数……26件（2018年度）
▶常勤医師数……97名（2019年5月現在）

厚生労働省臨床研修指定病院(基幹型)
日本医療機能評価機構 認定病院　卒後臨床研修評価機構 認定病院

社会医療法人社団 健生会
立川相互病院
Tachikawa Sougo Hospital

〒190-8578 東京都立川市緑町4-1
TEL 042-525-2898(医局直通)※問い合わせ時間平日9:00～17:30
E-mail ikyokustaff@tachisou.or.jp
〔　JR中央線「立川北口」より徒歩約8分　〕



●「立川駅」は新宿に次いで2位の乗降客（JR中央線）
●JR中央線で「東京駅」から40分、「新宿駅」から25分

詳しくはHPをご覧ください
https://www.t-kenseikai.jp/igakusei-net/
立川相互病院　医学生